

[PRESS RELEASE]  
(経営関連)

2017年7月19日  
株式会社富士通ゼネラル  
(No.17-Y03-11)

## 健康経営の推進について ～働き方・生活習慣の意識改革から～

当社は、社員の健康保持増進の取り組みを経営的視点から捉え、今後は、戦略的に実践する健康経営を推進してまいります。

推進体制として、2017年4月に健康経営推進室を発足させるとともに、同7月、「富士通ゼネラルグループ健康宣言」を採択し、代表取締役社長 斎藤悦郎を「健康経営最高責任者（CHO）」に選任しました。

当社の最大の財産は「社員」です。社員が健康で幸せを感じながら働くことは、会社にとって大変重要なことであり、社員一人ひとりが自らのもつ能力や個性を十分に発揮し、活躍するためには、心身ともに健康でなければなりません。

当社は「人を思い活かす経営」を経営方針に掲げ、時間外労働の抑制、生産性向上、ダイバーシティ&インクルージョンの推進、ワークライフバランスの実現等を目的とした「働き方改革」を推進していますが、その実現のためにも社員が健康であることが大前提であり、働き方改革と健康経営は一体的に推進していくことが重要であると考えます。

「富士通ゼネラルグループ健康宣言」

「社員そして家族の健康を会社の財産ととらえ、世界中のお客様に“快適で安心な空間”を提供する企業として、“いきいきした職場”で、社員一人ひとりが、健康で“しあわせ”と“よろこび”を実感できる持続的企業へ」

” Good Health”、” Good Job”、” Good Life”を目指して、全社員が一丸となって取り組んでまいります。

現在、社員の健康を可視化するため、健康診断およびストレスチェックの結果をまとめた「富士通ゼネラルグループ健康白書」を作成中です。

健康課題に対して効果的な施策を講じることで、社員の健康保持・増進に向けた取り組みを強力的に推進していきます。

お問い合わせ先

報道関係：広報 IR 室 <https://ssl.fujitsu-general.com/jp/contact/news.html>